

職場体験レポート

作成者

伊予市立中山中学校

2年 氏名：椽木 結介

事業所の紹介

企業名

総合福祉施設
なかやま幸梅園

創業：平成9年4月

住所：伊予市中山町中山寅381

特色：それぞれの利用者に合わせてサービスを行っている

従業員：85人

家庭の延長として過ごせるような日本一あたたかいホームを目指し町内で各種事業を運営しています。

事業所の写真



こんな会社です！



職場で体験したこと



幸梅園での体験学習は、朝礼から始まりました。その後、新聞を用いて、利用者の方と日付やその日の昼食、ニュースなどを確認して、とても楽しかったです。

お昼は、配膳台を拭いたり、お茶を配ったりしました。利用者の方の口に入るものなので、慎重に準備しました。しっかり手を洗い、エプロンを着ました。利用者の方それぞれにご飯が異なっていたので、準備をするのがとても大変でした。また、利用者の方の名前も知らなかったので、お昼ご飯を持って行くこともとても苦労しました。しかし、お昼ご飯を運んだ時には、利用者の方に「ありがとう」と言ってもらい、とてもうれしかったです。

午後には、実験をしました。利用者の方によって、ご飯のとろみ具合が違い、そのとろみを出すとろみ剤を使った実験です。とろみには三段階あったのですが、三つ目が

ケチャップぐらいドロドロで、液体というより固体みたいになっていました。

また、車いすの掃除と窓ふきもしました。車いすは、いろいろな部分が外れて、掃除しやすかったです。二台の車いすを掃除して、どちらもきれいになったので達成感がありました。



体験学習を通して

うれしかったこと、うまくできたこと

利用者の方に「ありがとう」と言ってもらったことが、何よりもうれしかったです。また、中山のことについて利用者の方と話す時間があり、はじめはどのように話したらよいかわからなかったので困りましたが、利用者の方から話しかけてくれたのでたくさん話ができうれしかったです。

大変だったこと、失敗したこと

ご飯の準備が一番大変でした。一人一人量が違うので、おぼんに置くことがとても難しかったです。また、利用者の方に言葉をよく聞き取ってもらうために、いつもより大きな声で話さなければならないところも大変でした。

感想

働く人の姿から学んだこと

一緒に働く人との人間関係をしっかり築くことの大切さを知りました。仕事をしている中で、従業員どうしがよい雰囲気の仕事をしていると、利用者の方まで笑顔になることがわかりました。人と関わることの大切さを知ることができました。

全体を通して学んだこと

幸梅園には、利用者の介護だけでなく、施設の掃除や面接、相談など色々な仕事があることを知りました。中山には、色々なところに施設があり、施設によって介護の仕方も違うことがわかりました。人と関わる時は、常に笑顔で生活したいと思いました。